

Marshall

Broadcast A/V Division



CV605-BK(Black) CV605-WH(White)

5x HD60 IP PTZ Camera with 3GSDI

Operation Guide

日本語版

目次

1. はじめに	3
1.1 カメラレイアウトの説明	3
1.2 電源投入時の初期設定	3
1.3 ビデオ出力	3
2. 製品の概要	4
2.1 製品紹介	4
2.2 主な機能	5
2.3 技術仕様	6
2.4 インターフェースの説明	7
3. アプリケーションの説明	8
3.1 リモコン	8
3.2 メニュー設定	11
4. ネットワーク接続	17
4.1 接続モード	17
4.2 IE ログイン	19
5. シリアル通信制御	27
5.1 VISCA プロトコルリスト	28
5.2 Pelco-D プロトコルコマンドリスト	30
5.3 Pelco-P プロトコルコマンドリスト	30
6. カメラのメンテナンスとトラブルシューティング	31
6.1 カメラのメンテナンス	31
6.2 トラブルシューティング	31
保証	33

ご注意ください

このマニュアルでは、機能、インストール、操作、および推奨事項について詳しく説明します。インストールして使用する前に、このマニュアルをよくお読みください。

使用説明

1. このカメラやワークフロー内の他のコンポーネントの損傷を防ぐために、所定の目的と操作範囲内で使用してください。
2. デバイスを雨、湿気、または高湿度から遠ざけてください。
3. 電気ショックや内部部品の損傷を防ぐために、メインケースを開かないでください。資格のある技術者のみが修理を行う必要があります。
4. 温度、湿度、または電源の仕様の範囲を超えてデバイスを使用しないでください。
5. カメラのレンズを掃除するときは、柔らかい乾いた布を使用してください。汚れが落ちにくい場合は、水またはマイルドな石鹸を使用してください。強力な洗剤や腐食性の洗剤は使用しないでください。レンズに傷を付けたり、化学物質の残留物を残したりする可能性があります。

取り扱いの注意

6. 輸送、保管、設置中の強い圧力、強い振動、または浸水による損傷を避けてください。

電源の極性

7. この製品は DC12V 電源を使用しています(高すぎるまたは低すぎる電圧は損傷を引き起こす可能性があります)。

設置上の注意

8. カメラヘッドを持って持ち運んだり、無理に回転させたりしないでください。機械的な故障や内部のベルトやギアの損傷の原因になります。
9. この製品は、安定したデスクトップまたはその他の水平面に配置する必要があります。水平位置以外に設置しないでください。傾斜した画像や軸外れの画像が表示される場合があります。
10. この製品シェルは有機材料でできています。シェルを腐食させる可能性のある液体、ガス、または固体にさらさないでください。
11. 取り付け中は、ヘッドの動きを制限するために、ヘッドの回転範囲内に障害物がないことを確認してください(パン/チルト)。
12. 動きが制限される可能性があるため、取り付けが完了する前に電源を入れないでください。メーカーの許可なしに製品を分解しないでください。
13. この製品には、現場または現場で修理できる部品は含まれていません。分解により損傷が生じた場合、製品保証は無効になります。

磁場干渉

14. 特定の周波数内の磁場は、カメラのビデオ画像に影響を与える可能性があります。これはクラス A の製品です。家庭環境内の一部のアプリケーションは、無線干渉を引き起こす可能性があります。他の無線相互参照が存在しないことを確認してください。

1. はじめに

1.1 カメラレイアウトの説明

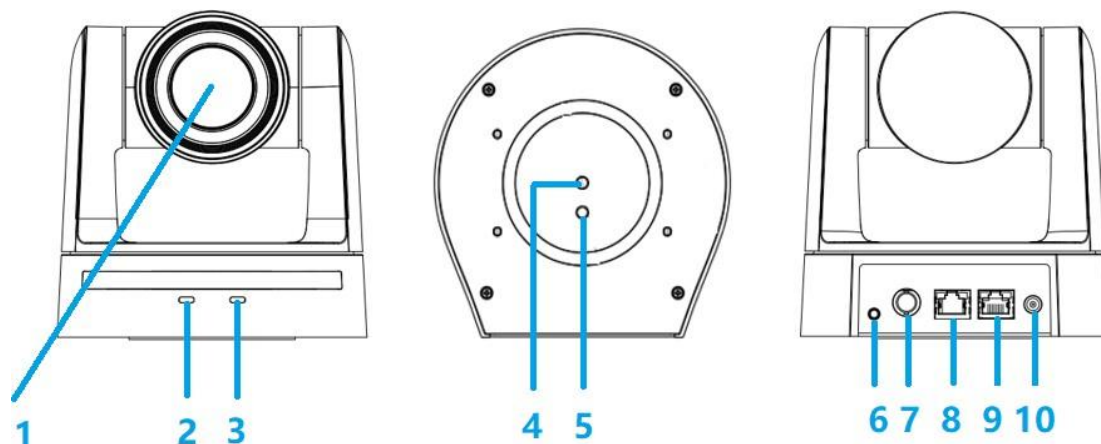


図 1.1 SDI モデルのインターフェース

SDI モデルのインターフェース:

1. カメラレンズ	2. 電源インジケータ
3. リモートコントロールレシーバーライト	4. 位置ロック
5. 1/4"-20 取り付け穴	6. オーディオ入力(TRS)
7. 3GSDI(BNC)	8. イーサネット(IP)ポート
9. RS232(RJ45)ポート	10. DC12V 入力電源ソケット

1.2 電源投入時の初期設定

- 1) 電源オン: ボックスに含まれている DC12V 電源を電源コンセントとカメラ電源入力に接続します。
- 2) 初期構成: 電源を入れると、電源インジケータライトが点滅し始め、カメラヘッドが下から移動します。左下に移動し、カメラモジュールが起動している間に HOME 位置(水平および垂直中央)に移動します。リモートコントロールレシーバーライトの点滅が停止するとすぐに、セルフチェックと起動が完了します。

注:

1. リモートコントローラーのデフォルトアドレスは 1 #アドレスです。
2. プリセットを[0]に設定すると、セルフチェックと起動が完了すると、カメラは自動的にプリセット 0 の位置に移動します。

1.3 ビデオ出力

- 1) ネットワーク出力:
 - A) ネットワークケーブル接続ポート: 図 1.1 の 8 番
 - B) Web ページログイン: Web ブラウザーを開き、アドレスバーにデフォルトの IP アドレス **192.168.5.163** を入力します(工場出荷時のデフォルト)。Enter キーを押して、LOGIN プロンプトを入力します。次に、デ

フォルトのユーザー名 **admin** とパスワード **admin** (工場出荷時のデフォルト) を入力します。次に Enter キーを押してプレビューページを表示します。ユーザーはこのソフトウェア GUI から PTZ 制御、再生、構成、およびその他の操作を実行できます。

2) 3GSDI(BNC)出力:

3GSDI(RG6)同軸ケーブルを使用してカメラをモニターまたはスイッチング機器に接続すると、モニターまたはその他の機器に画像が表示されます。

2. 製品の概要

2.1 製品紹介

2.1.1 寸法

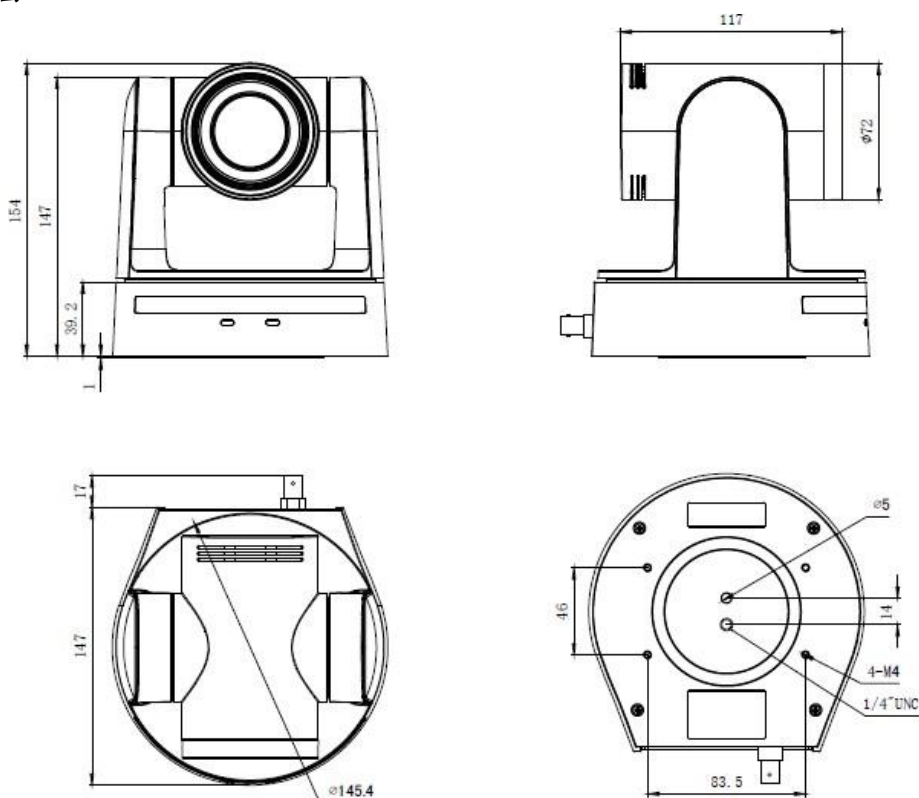


図 2.2 カメラの寸法

2.1.2 内容物

箱を開梱する際は、付属品がすべて含まれていることを確認してください。

型番	内容物
CV605-BK/ CV605-WH	CV605-BK/WH 本体
	電源アダプタ
	IR リモートコントローラー
	取扱説明書(本書)

オプション(別売り):

- ・CV605-WM(ウォールマウント-ブラック)
- ・CV605-WMW(ウォールマウント-ホワイト)
- ・CV605-CM シーリングマウント

2.2 主な機能

CV605 カメラシリーズは、豊富な機能セットを備えた高品質のパフォーマンスを提供します。この機能には、高度な ISP 処理アルゴリズムが含まれており、鮮やかな画像に深い色の深み、鮮明でクリアな HD 画像、正確な色の再現を提供します。CV605 は、H.265 / H.264 エンコーディングもサポートしており、理想的とは言えない帯域幅条件下でスムーズな IP ビデオパフォーマンスと鮮明な画像を作成します。

1. **真の高精細画像:** 1/2.8 インチの高品質 CMOS センサー。解像度は最大 1920x1080p、最大 60fps です。
2. **光学ズームレンズ:** 5 倍ズームレンズは非常に低い歪みで広角 85° AOV に到達します。
3. **最先端のオートフォーカステクノロジー:** 最先端のオートフォーカスアルゴリズムにより、レンズは高速で正確かつ安定したオートフォーカスになります。
4. **低ノイズと高 SNR:** 低ノイズ CMOS は、カメラビデオの高 SNR を効果的に保証します。高度な 2D/3D ノイズリダクションテクノロジーを使用して、画像の鮮明さを確保しながら、ノイズをさらに低減します。
5. **静かな PTZ:** 高精度のステップモーターテクノロジーで設計することにより、カメラの動きは非常に静かで、スムーズな操作と高速で正確な目的地(プリセット)を備えています。
6. **ビデオ出力:** 最大 3GSDI および LAN インターフェースをサポートします。
7. **複数のビデオ圧縮:** H.265/H.264 ビデオ圧縮をサポート。
8. **オーディオ入力インターフェイス:** 16000、32000、44100、48000 のサンプリング周波数と AAC、MP3、G.711A オーディオコーデイングをサポートします。
9. **複数のネットワークプロトコルのサポート:** ONVIF、RTSP、RTMP プロトコル
10. **低電力スリープ機能:** スリープモード(400mW 未満)での超低消費電力をサポートします。
11. **複数の制御プロトコル:** VISCA、Pelco-D、Pelco-P をサポートし、自動認識プロトコル検出をサポートします。
12. **255 プリセット位置:** 最大 255 のプリセット(IR リモートコントローラーで利用可能な 10 のプリセット)。

2.3 技術仕様

型番	CV605-BK / CV605-WH
カメラ仕様	
光学ズーム	5 倍光学ズーム(3~15.5mm)
センサー	1/2.8 インチ高品質 HD CMOS センサー
有効なピクセル ビデオフォーマット	16:9、2メガピクセル 3G/HD-SDI ビデオフォーマット 1920x1080p @ 60/59.94/50/30/29.97/25 fps 1920x1080i @ 60/59.94/50 fps 1280x720p @ 60/59.94/50/30/29.97/25 fps
視野角	85° (全開)から 16° (テレフォト)
デジタルズーム	10 倍追加
最小照明	0.5Lux (F1.8, AGC ON)
DNR	2D & 3D DNR
ホワイトバランス	Auto / Manual/ One Push/ VAR
フォーカス	Auto/Manual/One Push
アイリス	Close/F11/9.6/8.0/6.8/5.6/4.8/4.0/3.4/2.8/2.4/2.0/1.8
電子シャッター	Auto/Manual
BLC	ON/OFF
ビデオ調整	明るさ、色、彩度、コントラスト、シャープネス、 白黒モード、ガンマカーブ
SNR	>55dB
入力/出カインターフェイス	
利用可能なビデオ I/O	3G / HD-SDI, LAN, RS232(RJ45)、オーディオ入力
複数の画像出力コードソース	デュアルコードソース出力(3GSDI, LAN)
ビデオ圧縮フォーマット	H.264 & H.265
オーディオ入力インターフェース	2 チャンネル 3.5mm(ラインまたはマイクレベル)
オーディオ出力	3G/HD-SDI, LAN (IP) embedded
オーディオ圧縮フォーマット	AAC/MP3/G.711A
IP インターフェース	100M IP port (100BASE-TX)
ネットワークプロトコル	RTSP / RTMP, ONVIF, GBT28181; ViscaoverIP 制御プロトコル
制御インターフェース	RS232
制御プロトコル	VISCA/Pelco-D/Pelco-P; Baud Rate: 115200/38400/9600/4800/2400
パワーインターフェース	HEC380 outlet (DC12V), PoE (IEEE 802.3af)
サブライアアダプター	AC110V-AC220V to DC12V/1.5A
入力電圧	DC12V±10%
入力電流	1A (Max)
消費電力	12W (Max)
PTZ パラメータ	
パン回転	270 度パン(+/- 135°)
チルト回転	60 度チルト(-30°~+ 30°)
パンコントロール速度範囲	0.1 -60° /sec
チルトコントロール速度範囲	0.1-30° /sec
プリセット速度	パン: 60°/sec, チルト: 30°/sec
プリセット番号	255 個のプリセット(リモートコントローラーによる 10 個のプリセット)
その他のパラメータ	
保管温度	-10°C~+60°C
保管湿度	20% - 95%
作業温度	-10°C~+50°C
作業湿度	20% - 80%
寸法	145.4mm x 147mm x 154mm
重量	1.27 kg
使用環境	屋内
内容物	電源アダプタ、IRリモートコントローラ、取扱説明書(本書)

2.4 インターフェースの説明

2.4.1 外部インターフェース

外部インターフェース：オーディオ入力、3G-SDI 出力、イーサネット、RS232 入力、DC12V 電源

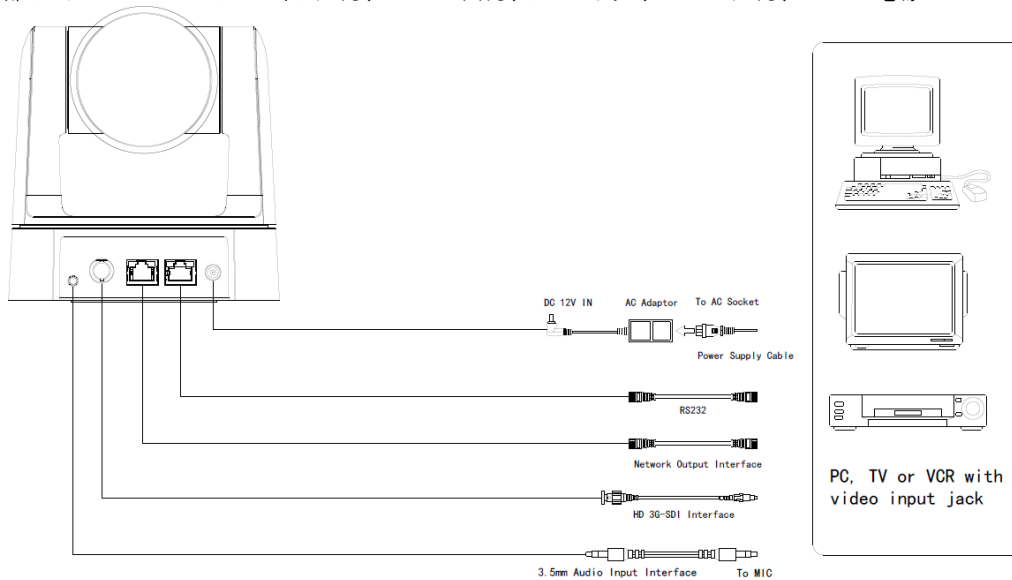


図 2.3 外部インターフェース図

3. アプリケーションの説明

3.1 リモコン

3.1.1 設定の説明

1. **スタンバイキー:** 3 秒間押すと、カメラはスタンバイモードになります。もう一度 3 秒間長押しすると、カメラは再度セルフテストを行い、ホームポジションに移動します。
注:電源オンモードがオンで、プリセット 0 が設定されていて、12 秒以内に操作がない場合、カメラは指定されたプリセット位置を自動的に指します。
2. **カメラアドレスの選択:** 制御するカメラアドレスを選択します。
3. **数字キー:** 0~9 のプリセットを設定または実行します。
4. **[*]、[#]キー:** 組み合わせて使用するキー。
5. **フォーカスコントロールキー:**
オートフォーカス: オートフォーカスモードに入ります。
手動フォーカス: カメラフォーカスモードは手動です。[focus+]または[focus -]を押し、手で調整することにより、カメラフォーカスモードを手動に切り替えます。
6. **ズームコントロールキー:**
Zoom +: レンズを近づけるまたはズームインする
Zoom -: レンズを遠ざけるまたはズームアウトする
7. **プリセットキーを設定またはクリア:**
プリセットの設定: プリセットキーの設定 + 0~9 の数字キー
プリセットのクリアキー: プリセットキーのクリア + 0~9 の数字キー
8. **パン/チルトコントロールキー:**
▲キーを押す: 上、▼キーを押す: 下、◀キーを押す: 左、▶キーを押す: 右
[HOME]キー: 中央の位置に戻るか、次のレベルのメニューに入る
9. **BLC コントロールキー:** バックライトのオン/オフ: バックライトをオンまたはオフにする
10. **メニュー設定:** OSD メニューを開くまたは閉じる: OSD メニューを開始/終了するか、前のメニューに戻る。
11. **カメラ IR リモートコントロールアドレス設定:**
[*]+[#]+[F1]: カメラアドレス No.1
[*]+[#]+[F2]: カメラアドレス No.2
[*]+[#]+[F3]: カメラアドレス No.3
[*]+[#]+[F4]: カメラアドレス No.4
12. **キーの組み合わせ機能:**
1)[#]+[#]+[#]: すべてのプリセットをクリア
2)[*]+[#]+[6]: 工場出荷時の状態に戻す
3)[*]+[#]+[9]: フリップスイッチ
4)[*]+[#]+自動: エージングモードに入る



- 5)【*】+【#】+【3】: 中国語に設定されたメニュー
- 6)【*】+【#】+【4】: 英語に設定されたメニュー
- 7)【*】+【#】+手動: デフォルトのユーザー名、パスワード、および IP アドレスを復元する
- 8)【#】+【#】+【0】: 動画フォーマットを 1080P60 に切り替える
- 9)【#】+【#】+【1】: 動画フォーマットを 1080P50 に切り替える
- 10)【#】+【#】+【2】: 動画フォーマットを 1080I60 に切り替える
- 11)【#】+【#】+【3】: ビデオフォーマットを 1080I50 に切り替える
- 12)【#】+【#】+【4】: ビデオフォーマットを 720P60 に切り替える
- 13)【#】+【#】+【5】: ビデオフォーマットを 720P50 に切り替える
- 14)【#】+【#】+【6】: ビデオフォーマットを 1080P30 に切り替える
- 15)【#】+【#】+【7】: ビデオフォーマットを 1080P25 に切り替える
- 16)【#】+【#】+【8】: ビデオフォーマットを 720P30 に切り替える
- 17)【#】+【#】+【9】: 動画フォーマットを 720P25 に切り替える

3.1.2 アプリケーション

カメラの起動(初期化)後、カメラは IR コマンドを受信して実行できます。リモートコントローラーボタンを押すと、インジケータライトが点滅し始めます。ボタンを離すと、インジケータライトの点滅が止まります。ユーザーは、IR リモートコントローラーを介して、パン/チルト/ズームを制御し、プリセット位置を設定および操作できます。

キーの指示:

1. この説明では、「キーを押す」とは、長押しではなくクリックを意味し、長押し(1 秒以上)が必要な場合は特別な注意が必要です。
2. キーの組み合わせが必要な場合は、順番に実行してください。たとえば、【*】+【#】+【F1】は、最初に【*】を押し、次に【#】を押し、最後に【F1】を押すことを意味します。

1) カメラの選択

制御するカメラアドレスを選択します。



2) パン/チルト制御

上: ▲を押す

下: ▼を押す

左: ◀を押す

右: ▶を押す

真ん中の位置に戻る: 【HOME】を押す



上/下/左/右キーを押し続けると、パン/チルトは、最大エンドポイントまで実行されるまで、低速から高速まで実行を続けます。キーを離すとすぐにパン/チルトの動きが止まります。

3) ズームコントロール

ズームイン: [ZOOM▲]キーを押す

ズームアウト: [ZOOM▼]キーを押す

キーを押し続けるとカメラはズームインし続け、キーを離すとすぐにズームアウトして停止します。



4) フォーカスコントロール

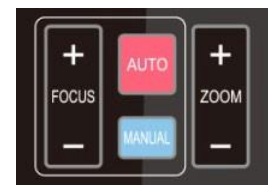
フォーカス(近く): 【focus+】キーを押す(手動フォーカスモードでのみ有効)

フォーカス(遠): 【focus -】キーを押す(手動フォーカスモードでのみ有効)

オートフォーカス: 対応

手動フォーカス: 対応

キーを押し続けると、フォーカスの動作が継続し、キーを離すとすぐに停止します。



5) BLC 設定

BLC オン/オフ: 対応



6) プリセットの設定、実行、クリア

1. プリセット設定: プリセット位置を設定するには、最初に【SET PRESET】キーを押してから、数字キー0~9を押して相対プリセット位置を設定します。

注:リモートコントローラーでは合計 10 のプリセット位置を使用でき、ジョイスティックまたはその他のコマンドソースから 255 の位置を使用できます。

2. プリセット実行: 数字キー0~9を直接押して、カメラを保存されたプリセット位置に移動します。

注: 割り当てる番号ごとに、最初にプリセットを保存する必要があります。

3. プリセットのクリア: プリセット位置をクリアするには、最初に【CLEAR PRESET】キーを押してから、数字キー0~9を押して相対的なカメラのプリセット位置をクリアします。

注:【#】キーを 3 回押すと、すべてのプリセットがキャンセルされます。



7) カメラリモートコントローラーのアドレス設定

【*】+【#】+【F1】: カメラアドレス No.1

【*】+【#】+【F2】: カメラアドレス No.2

【*】+【#】+【F3】: カメラアドレス No.3

【*】+【#】+【F4】: カメラアドレス No.4



3.2 メニュー設定

3.2.1 メインメニュー

通常の作業モードでは、【MENU】キーを押して OSD メインメニューを表示します。上/下矢印でメニューを選択し、【HOME】を押してメニューに入ります。

Language: 言語設定、English / Chinese

Setup: システム設定

Camera: カメラ設定

P/T/Z: パンチルトズーム設定

Video Format: ビデオ出力フォーマットを選択

Network Settings: DHCP モードのオン/オフを切り替え、カメラの IP アドレスを確認する

Audio Settings: オーディオのオン/オフを切り替え、音量を調整する

Version: カメラのファームウェアバージョンを表示

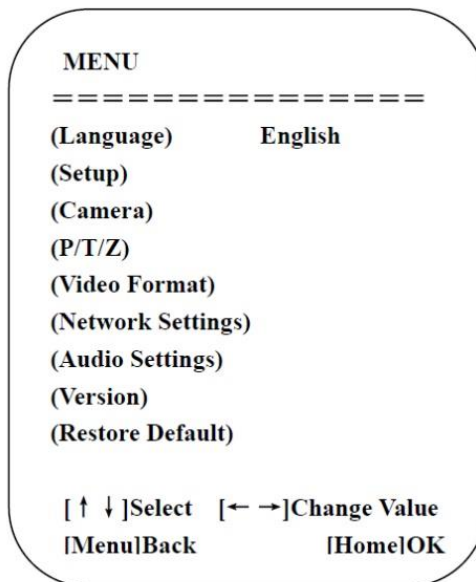
Restore Default: 設定をリセットする

[↑ ↓] **Select:** メニュー選択用

[← →] **Change Value:** パラメータの変更用

[MENU] **Back:** [MENU]を押して戻る

[Home] **OK:** [Home]を押して確認する



3.2.2 システム設定

メインメニューの [Setup] にポインタを移動し、【HOME】キーをクリックして設定メニューに入ります。

Protocol: VISCA / Pelco-P / Pelco-D / Auto

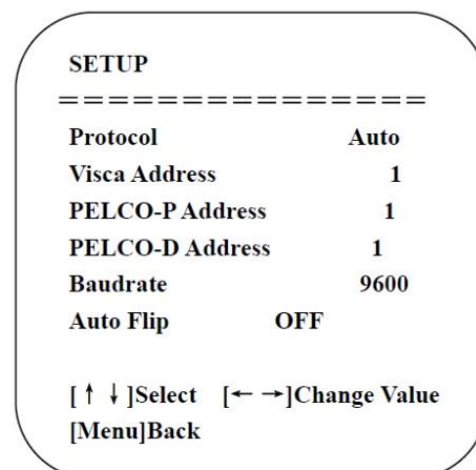
Visca Address: 1~7

PELCO-P Address: 1~255

PELCO-D Address: 1~255

Baud rate: 2400/4800/9600/38400/115200

Auto Flip: ON/OFF(オンの場合、カメラが上下逆に取り付けられていると、画像が自動的に反転します)



3.2.3 カメラ設定

メインメニューの [Camera] にポインタを移動し、【HOME】キーをクリックしてカメラメニューに入ります。

Exposure: 露出設定に入ります

Color: 色設定に入ります

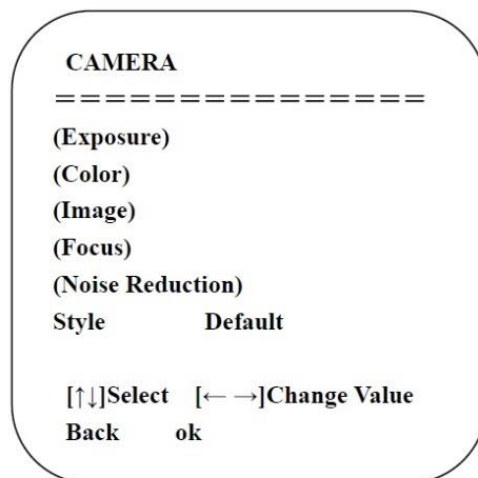
Image: 画像設定に入ります

Focus: フォーカス設定に入ります

Noise Reduction: ノイズリダクションを開始します

Style: 画像スタイルオプションを選択します

(Default/Normal/Clarity/Bright/Soft)



1) EXPOSURE

[Exposure]メニューにポインタを移動し、【HOME】キーをクリックして露出メニューに入ります。

Mode: Auto, Manual, Shutter priority, Iris priority, Bright (自動、手動、シャッター優先、アイリス優先、明るい)

EV: On/Off (Auto モードでのみ使用可能)

EV Level: -7~7 (EV がオンの場合の Auto モードでのみ使用可能)

BLC: On/Off (Auto モードでのみ使用可能)

Flicker: オプションの場合は OFF / 50Hz / 60Hz (Auto/Iris priority/Bright モードでのみ使用可能)

Gain Limit: 0~15 (Auto/Iris priority/Bright モードでのみ使用可能)

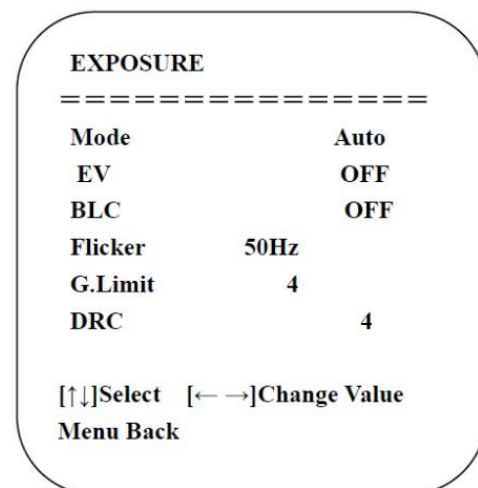
DRC: Close, 値 1~8

Shutter Priority:

1 / 25,1 / 30,1 / 50,1 / 60,1 / 90,1 / 100,1 / 120,1 / 180,1 / 250,1 / 350,1 / 500,1 / 1000,1 / 2000,1 / 3000,1 / 4000,1 / 6000,1 / 10000 (Manual/Shutter priority モードでのみ使用可能)

IRIS Priority: Close, F11, F9.6, F8.0, F6.8, F5.6, F4.8, F4.0, F3.4, F2.8, F2.4, F2.0, F1.8 (Manual Exposure/Iris priority モードでのみ使用可能)

Bright: 0~23 (Bright priority モードでのみ使用可能)



2)COLOR

[Color] メニューにポインタを移動し、【HOME】キーをクリックしてカラーメニューに入ります。

WB Mode: Auto, Manual, One Push, VAR(自動、手動、ワンプッシュ、VAR)

Color Temp: 2400K～7100K (VAR モードでのみ使用可能)

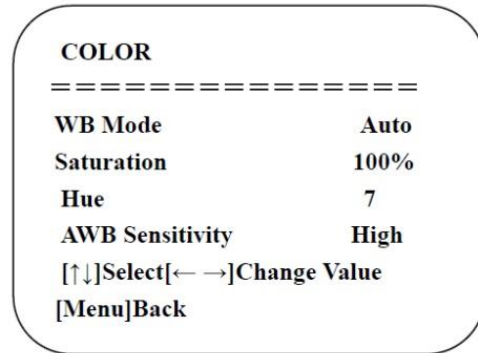
Red Gain: 0～255 (Manual モードでのみ使用可能)

Blue Gain: 0～255 (Manual モードでのみ使用可能)

Saturation: 60%,70%,80%,90%,100%,110%,120%,130%,140%,150%,160%,170%,180%,190%,200%

Hue: 0～14

AWB Sensitivity: High/Middle/Low (Manual モードでのみ使用可能)



3)IMAGE

[Image] メニューにポインタを移動し、【HOME】キーをクリックして画像メニューに入ります。

Brightness: 0～14

Contrast: 0～14

Sharpness: 0～15

Flip-H: On/Off (Auto Flip がオンの場合、このオプションは無効になります)

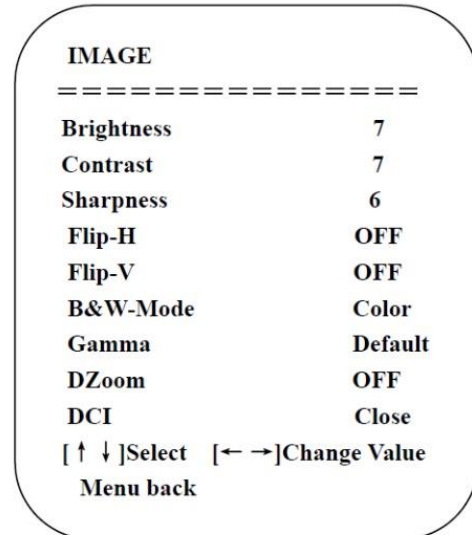
Flip-V: On/Off (Auto Flip がオンの場合、このオプションは無効になります)

B&W Mode: Color, B&W

Gamma: Default, 0.45, 0.50, 0.55, 0.63

DZoom: ON/OFF

DCI (Dynamic Contrast): Close, 1～8



4) FOCUS

[Focus] メニューにポインタを移動し、【HOME】キーをクリックしてフォーカスメニューに入ります。

Focus Mode: Auto, Manual, OnePush(自動、手動、ワンプッシュ)

AF-Zone: All, Top, Center, Bottom

AF-Sensitivity: High, Middle, Low

FOCUS	
=====	
Focus Mode	Auto
AF-Zone	All
AF-Sensitivity	Low
[↑ ↓]Select [← →]Change Value	
[Menu]Back	

5) NOISE REDUCTION

[Noise Reduction]メニューにポインタを移動し、【HOME】キーをクリックしてノイズリダクションメニューに入ります。

2D Noise Reduction: Auto, OFF, 1~7

3D Noise Reduction: OFF, 1~8

Dynamic Hot Pixel: OFF, 1~5

NOISE REDUCTION	
=====	
NR-2D	3
NR-3D	3
Dynamic Hot Pixel	OFF
[↑ ↓]Select [← →]Change Value	
[Menu]Back	

3.2.4 P/T/Z

メインメニューの [P/T/Z] にポインタを移動し、【HOME】キーをクリックして P/T/Z メニューに入ります。

Speed by Zoom: On/Off (IRリモートコントローラーでのみ有効です。このオプションがオンの場合、画像をズームインするとパン/チルトの移動速度が遅くなります。)

Zoom Speed: 1~8 (IRリモートコントローラーでのみ有効)

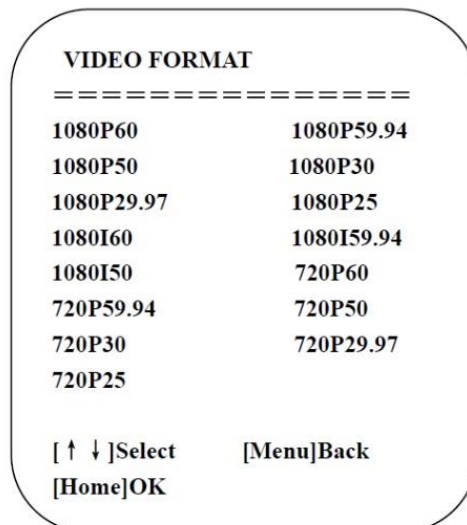
Image Freezing: On/Off

Preset speed: 1-10

P/T/Z	
=====	
Speed by Zoom	ON
Zoom speed	8
Image Freezing	OFF
Preset speed	1
[↑ ↓]Select [← →]Change Value	

3.2.5 ビデオフォーマット

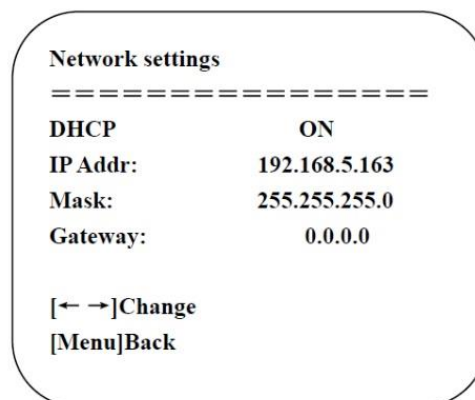
メインメニューの[Video Format]にポインタを移動し、【HOME】キーをクリックしてビデオフォーマットメニューに入ります。



3.2.6 ネットワーク設定

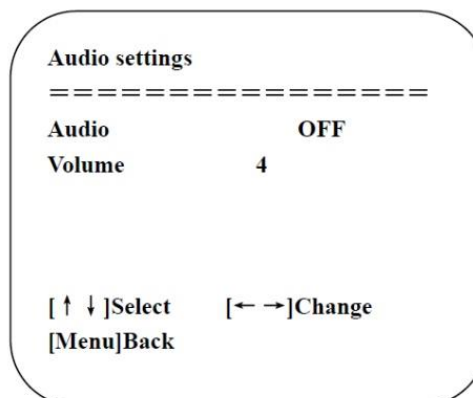
メインメニューの [Network Settings] にポインタを移動し、【HOME】キーをクリックしてネットワーク設定メニューに入ります。

注:イーサネット(CAT)ケーブルを IP スイッチから CV605 カメライーサネットポートに接続してください。DHCP を ON から OFF、または OFF から ON に変更してから、メニューを完全に終了して設定を保存する必要があります。次に、DHCP または FIXED IP アドレスを有効にするために、電源を切って(次に電源を入れ直して)カメラの電源を入れ直します。実際の IP アドレスは、電源を入れ直した後、ネットワーク設定メニューに表示されます。



3.2.7 オーディオ設定

メインメニューの [Audio Settings] にポインタを移動し、【HOME】キーをクリックして以下のオーディオ設定メニューに入ります。



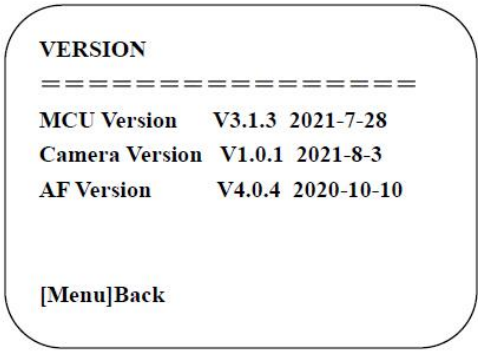
3.2.8 バージョン

メインメニューの [Version] にポインタを移動し、【HOME】キーをクリックして以下のバージョンメニューに入ります。

MCU Version: MCU バージョン情報を表示します

Camera Version: カメラバージョン情報を表示します

AF Version: フォーカスバージョン情報を表示します

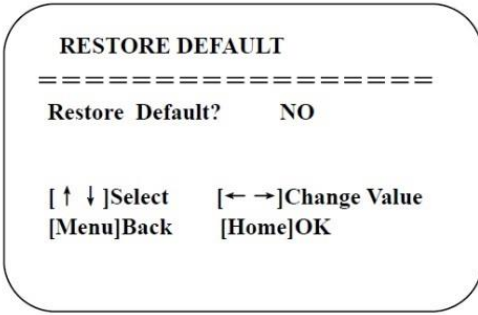


3.2.9 デフォルトを復元

メインメニューの [Restore Default] にポインタを移動し、【HOME】キーをクリックして、以下のデフォルトに戻すメニューに入ります。

Restore default: オプション: yes / no;

デフォルトに復元した後、ビデオ形式はデフォルトに復元されます。復元されないのは、VISCA アドレス、ボーレート、IP アドレスです。



4. ネットワーク接続

4.1 接続モード

直接接続:イーサネットケーブルでカメラをコンピューターに直接接続します。

インターネット接続(DHCP):ルーターまたはスイッチでカメラをインターネットに接続すると、ユーザーはブラウザでデバイスにログインできます。

注:ケーブルの接触不良による不安定な信号伝送によってビデオ品質が低下するのを防ぐために、電源ケーブルとネットワークケーブルを触れやすい場所に置かないでください。

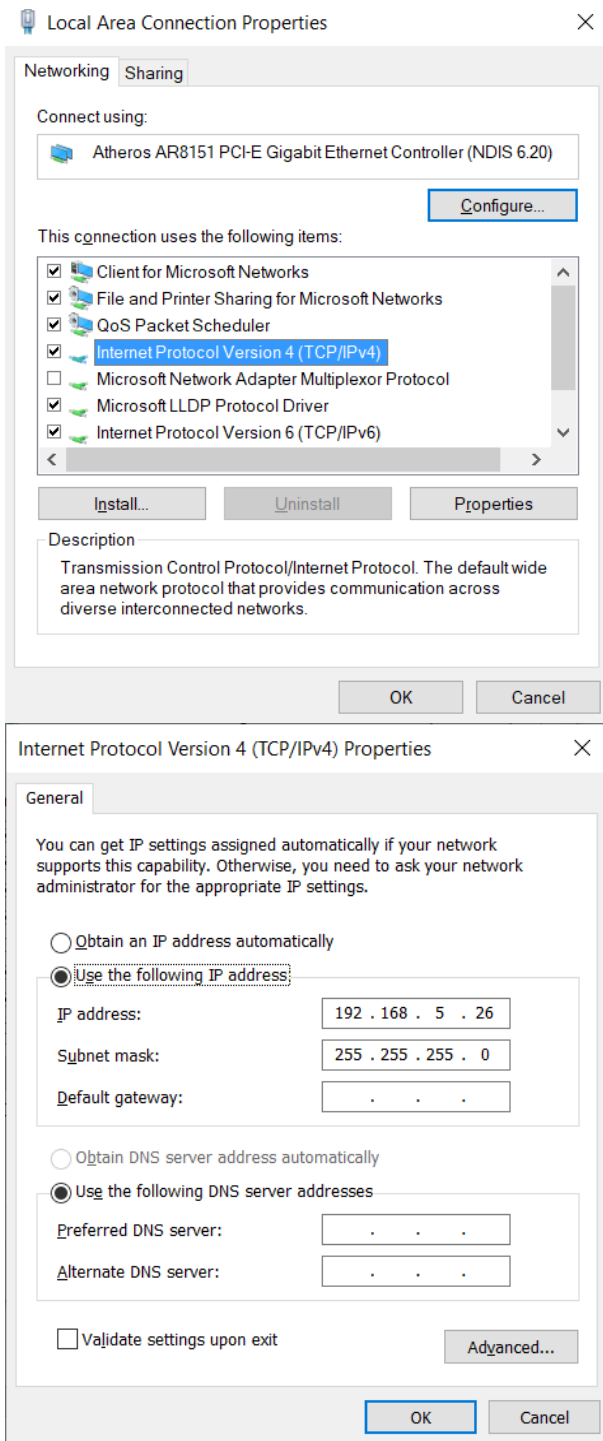
直接接続(デフォルト IP を使用):

コンピューターには、カメラの IP アドレスが属するネットワークセグメントが必要です。セグメントがないと、デバイスにアクセスできません。I.E. カメラのデフォルト IP アドレスは 192.168.5.163 であるため、セグメント 5 をコンピューターに追加する必要があります。具体的な手順は次のとおりです。

まず、コンピューターでローカルエリア接続のプロパティを開き、以下に示すように **[Internet Protocol Version 4(TCP/IPv4)]** を選択します。 **[Internet Protocol Version 4(TCP/IPv4)]** をダブルクリックするか、 **[Properties]** をクリックして、インターネットプロトコルバージョン 4(TCP / IPv4)のプロパティウィンドウに入ります。 **[General]** タップで **[Use the following IP address]** を選択します。下の図のように、カメラのデフォルト IP アドレスとサブネットマスク “255.255.255.0” と同じネットワークセグメントを持つ静的 IP “192.168.5.26” を入力します。 **[OK]** をクリックして終了します。

インターネット接続(DHCP を使用):

DHCP を使用するには、まずカメラのネットワーク設定 OSD メニューで DHCP をオンにします。カメラの電源を入れ直して、ネットワークができるようにします。カメラに IP アドレスを割り当てます。ネットワーク設定 OSD メニューで割り当てられた IP アドレスを再度確認し、そのアドレスを使用してカメラの Web ページにログインします。コンピューターとカメラが同じネットワークに接続されていることを確認してください。コンピューターの **[Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4) Properties]** ウィンドウで **[Obtain an IP address automatically]** を選択する必要があります。



4.2 IE ログイン

4.2.1 Web クライアント

1) Web クライアントログイン

ブラウザのアドレスファイルにデバイスの IP アドレス 192.168.5.163 を入力し、Enter ボタンをクリックして、次の図のように Web クライアントのログインページに入ります。

ユーザーは、管理者および通常のユーザーとしてログインできます。管理者としてログインする場合（デフォルトのユーザー名/パスワード:admin）、ユーザーは Web クライアントでプレビュー、構成、およびログアウトできます。

通常のユーザー（デフォルトのユーザー名/パスワード:user1 または user2）としてログインする場合、ユーザーはプレビューとログアウトのみを行うことができ、構成のオプションはありません。

2) プラグインのダウンロード/インストール

IE ブラウザを使用して Web 会議カメラに最初にアクセスすると、ログインページに“Playback plug-in is not installed, please download and install!”（再生プラグインがインストールされていません。ダウンロードしてインストールしてください！）と表示されます。情報プロンプトに従って、このメッセージをクリックし、MRWebXinstall.exe をダウンロードしてインストールします。

プラグインをインストールした後、ユーザー名とパスワードを入力し、クリックして署名します（デフォルトのユーザー名とパスワードは「admin」です。ユーザーは初期設定後にユーザー名とパスワードを変更できます）。

4.2.2 プレビュー

管理インターフェイスに正常にログインすると、ビデオプレビューインターフェイスに入ります。

プレビュー画面では、ユーザーは PTZ、ズーム、フォーカス、ビデオキャプチャ、サウンド、フォーカス、フルスクリーンを制御し、プリセット位置の設定、実行、削除、およびその他の操作を行うことができます。

1) 管理者としてログインする

ユーザー名とパスワードは両方ともデフォルトで管理者です。

利用可能な機能：PTZ コントロール、ズーム、フォーカス、オーディオ、フルスクリーン、プリセット位置の設定/実行/削除、プレビュー、構成、およびログアウト。

2) 通常のユーザーとしてログインする

デフォルトのユーザー名/パスワード：user1 または user2

利用可能な機能：PTZ コントロール、ズーム、フォーカス、オーディオ、フルスクリーン、プリセット位置の設定/実行/遅延、プレビュー、ログアウト。

注：通常のユーザーログインの構成権はありません。

4.2.4 構成

[Configuration] をクリックして、デバイスパラメータ設定ページに入ります。

次のオプションがあります：オーディオ構成、ビデオ構成、ネットワーク構成、システム構成。詳細な説明については、次の表を参照してください。

メニュー	説明
Audio Configure	エンコードタイプ、サンプルレート、サンプルビット、ビットレート、チャンネル、入力ボリュームを含む
Video Configure	ビデオエンコード、ストリーム公開、RTMP マルチキャスト、ビデオ OSD、OSD フォントサイズ、ビデオ出力を含む
Network Configure	ネットワークポート、イーサネット、DNS、GB28181、RTSP を含む
System Configure	SysAttr、システム、sysuser、更新、デフォルト、再起動を含む

1) Audio Configuration

Enable: 音声入力を有効にするか、無効にするかを選択します。

Encode Type: オーディオ圧縮形式を設定すると、デバイスは変更後に自動的に再起動します(デフォルト: AAC、オプション: MP3, AAC)

Sampling Rate: サンプリング頻度を設定すると、デバイスは変更後に自動的に再起動します(デフォルト:48000、オプション:16000, 32000, 44100)

Sampling Bits: サンプリング精度を設定します(デフォルト:16 ビット)

Bit Rate: オーディオ圧縮コードレートを設定します(デフォルト:64 ビット、オプション:32, 48, 96, 128 ビット)

Channel: チャンネルタイプを設定します(デフォルト:モノラルチャンネル、オプション:ステレオオーディオ)

Input Audio volume: 入力音量の音量を設定します(デフォルト:4、オプション:1~10)

[SAVE] をクリックすると、成功が通知されます。オーディオを有効にするためにデバイスを再起動する必要があります。その後、カメラを再起動して新しい設定を有効にしてください。

2) Video configuration

Video Encode Stream: 異なるビデオ出力モード設定、異なるストリームを使用します。(メインストリーム、サブストリーム)

Compression Format: ビデオ圧縮形式を設定し、保存して再起動すると、有効になります(プライマリ/セカンダリストリームのデフォルト:H.264、オプション:H.265)

Image Size: ビデオ画像の解像度を設定し、保存して再起動すると有効になります(メインストリームのデフォルト:1920 * 1080、オプション:1280 * 720, 640 * 480)(サブストリームのデフォルト:320 * 180、オプション:320 * 240, 640 * 360, 640 * 480, 1280 * 720, 1920 * 1080)

Rate control: レート制御モードを設定し、保存して再起動すると有効になります(プライマリ/セカンダリストリームのデフォルト:可変ビットレート、オプション:固定レート)。

Image Quality: 画質を設定します。画質は、レート制御が可変ビットレートの場合にのみ変更できます(メインストリ

ームのデフォルト: better、セカンダリストリームのデフォルト: not good) (best, better, good, bad, worse, worst のオプションあり)。

Bit Rate (Kb/s): ビデオビットレートを設定します(メインストリームのデフォルト: 4096Kb/s、オプション: 64-12288Kb/s)(セカンダリストリームのデフォルト: 1024Kb/s、オプション: 64-10240Kb/s)。

Frame Rate (F/S): ビデオフレームレートを設定します(プライマリ/セカンダリストリームのデフォルト: 25F/S、プライマリストリームのオプション: 5-60F/S、セカンダリストリームのオプション: 5-30F/S)。

I frame interval: キーフレーム間隔を設定します(プライマリ/セカンダリストリームのデフォルト: 75F、プライマリ/ストリームのオプション: 1-300F、セカンダリストリームのオプション: 1-150F)。

I Frame Minimum QP: キーフレーム最小 QP を設定します(デフォルト: 10、オプション: 10-51)

Stream Key: rtsp または rtmp ストリームを受信するとき、ユーザーはストリーム名を変更できます。(メインストリームのデフォルト: live/av0、セカンダリストリームのデフォルト: live/av1)

注: 通常は LIVE を予約しますが、変更するのは後者の部分のみです。[Save] ボタンをクリックすると "saved successfully" (正常に保存されました) というメッセージを表示され、設定が有効になります。

Stream Publish:

Enable: メイン/セカンダリストリームをオン/オフにします。

Protocol Type: プライマリ/セカンダリストリームは RTMP プロトコルを適用します。

Host Port: サーバーポート番号(デフォルト: 1935、オプション: 0-65535)

URL: サーバーの IP アドレス(デフォルト: 192.168.5.11)

Stream Key: 別のストリーム名を選択します(デフォルト: live/av0、オプション: live/av1)。

Username: ユーザー名を設定します。

Password: パスワードを設定します。

[Save] ボタンをクリックすると "Save successful" (保存成功) メッセージが表示され、設定が有効になります。

RTSP の取得方法: rtsp://デバイス IP アドレス:554/live/av0(av0 メインストリーム、av1 セカンダリストリーム)

RTP Multicast:

Main/Sub code stream: ON/OFF で選択可能

Protocol Type: マルチキャストプロトコルを選択できます(デフォルト: RTP、オプション: TS)

Multicast Address: マルチキャストアドレスを設定できます。(デフォルト: 224.1.2.3)

Multicast Port: マルチキャストポートを設定できます(メインコードストリームポートのデフォルト: 4000、セカンダリコードストリームポートのデフォルト: 4002)。

Access Method: 上記の情報を入力または選択して、訪問先アドレスを作成します。たとえば、rtsp://224.1.2.3:4000; udp://@224.1.2.3:4000;

Video Parameters:

a. Focus: フォーカスモード、フォーカス範囲、フォーカス感度を設定できます。

Focus Mode: フォーカスモードを設定します(デフォルト:auto、オプション:manual)

Focus range: フォーカス範囲を設定します(デフォルト:middle、オプション:upper, lower)

AF-Sensitivity: フォーカス感度を設定します(デフォルト:low、オプション:high, medium)

b. Exposure:

Mode: 露出モードを設定します(デフォルト:Auto、オプション:manual, SAE, AAT, Bright)

EV: 露出補正値を設定します。これは、自動に設定されている場合に有効です(デフォルト:0、オプション:-7 から 7)。

BLC: バックライト補正を設定します。自動ステータス(デフォルト:off)の場合に有効です。

Anti-flicker: ちらつき防止モードを設定します。automatic, aperture, brightness priority の場合に有効です。(デフォルト:50Hz、オプション:closed, 60Hz)

Gain limit: auto または aperture, brightness priority がアクティブのとき、ゲイン制限を設定します。(デフォルト:3、オプション:0~15)

Dynamic range: ダイナミックレンジを設定します(デフォルト:4、オプション:1-8)。

c. Color: ホワイトバランス、彩度、カラー、ホワイトバランス、感度、色温度、赤ゲイン、青ゲインを設定できます。

White balance modes: ホワイトバランスモードを設定します(デフォルト:automatic、オプション:manual, One-push, VAR)。

Saturation: 彩度を設定します(デフォルト:80%、オプション:60%,70%,80%,90%,100%,110%,120%,130%)。

Auto white balance Sensitivity: 感度自動ホワイトバランス設定(デフォルト:low、オプション:high, medium)。

Chroma: 彩度を設定します(デフォルト:7、オプション:0-14)。

Color Temperature: 色温度を設定します(デフォルト設定:high、オプション:low, middle)

Red Gain: 赤ゲインを設定します。手動の場合に有効です。(デフォルト:255、オプション:0-255)

Blue Gain: 青ゲインを設定します。手動の場合に有効です。(デフォルト:199、オプション:0-255)

d. Image: 明るさ、コントラスト、シャープネス、白黒モード、ガンマカーブ、水平フリップ、垂直フリップを設定できます。

Brightness: 明るさを設定します(デフォルト:6、オプション:0-14)。

Contrast: コントラストを設定します(デフォルト:8、オプション:0-14)。

Sharpness: シャープネス値を設定します(デフォルト:7、オプション:0-15)。

Black and white mode: 白黒モードを設定します(デフォルト:color、オプション:black/white)。

Gamma: ガンマ値の設定(デフォルト:0.45、オプション:0.50, 0.52, 0.55)。

Flip Horizontal: 水平方向に反転を設定します(デフォルト:Off、オプション:On)。

Flip Vertical: 垂直反転を設定します(デフォルト:Off、オプション:On)。

e. Noise Reduction: 2D ノイズリダクション、3D ノイズリダクション、動的なドット抜け補正が利用可能です。

2D Noise Reduction: 2D ノイズリダクションレベルを設定します(デフォルト:Auto、オプション:1-7, Off)。

3D Noise Reduction: 3D ノイズリダクションレベルを設定します(デフォルト:5、オプション:1-8, Off)。

Dynamic dead pixel correction: 動的ドット抜け補正を設定します(デフォルト:Off、オプション:1-8)。

注: [Refresh] をクリックして、a, b, c, d, e のビデオパラメータの修正を有効にします。

3)Video OSD

Show Time: 時刻と日付を表示するかどうかを設定します(デフォルト:表示)。

Show Title: タイトルを表示するかどうかを設定します(デフォルト:表示)。

Font Color of Time: 時間と日付のフォントの色を設定します(デフォルト:white、オプション:black, yellow, red, blue)。

Font Color of Title: タイトルのフォントの色を設定します(デフォルト:white、オプション:black, yellow, red, blue)。

Moving characters: 移動する日付、時刻、タイトルの表示位置を設定し、「上、下、左、右」ボタンをクリックして、対応する文字の位置を移動します。

Title Content: タイトルコンテンツを設定します(デフォルト:CAMERA1)。

Time Content: 時間内容を設定します(デフォルト:1970/01/10 05:36:00)

[Save]ボタンをクリックすると、“Save successful”(保存成功)メッセージが表示され有効になります。

4)OSD Font Size: 解像度に応じて自動ズームイン/ズームアウトします。

Master stream font size: ディスプレイの文字サイズを設定します。デバイスは変更および保存後に自動的に再起動します(デフォルト:48、オプション:28-200)。

Slave stream font size: ディスプレイの文字サイズを設定します。デバイスは変更および保存後に自動的に再起動します(デフォルト:48、オプション:28-200)。

[Save]ボタンをクリックすると、“Parameter saved successfully”(パラメータが正常に保存されました)というメッセージが表示され、有効になります。

5)Video Out

Video Output Format: ビデオ出力フォーマットを設定します

1080p60, 1080p59.94, 1080p50, 1080p30, 1080p29.97, 1080p25, 1080i60, 1080i59.94, 1080i50, 720p60, 720p59.94, 720p50, 720p30, 720p29.97, 720p25

[Save]ボタンをクリックすると、“Save the parameters successfully”(パラメータを正常に保存しました)というメッセージが右下隅に表示されます。

4.2.6 ネットワーク構成

1) Network port

Port Data: データポートを設定します。デバイスは変更後に自動的に再起動します(デフォルト:3000、オプション:0-65535)。

Port Web: Web ポートを設定します。デバイスは変更後に自動的に再起動します(デフォルト:80、オプション:0-65535)。

Port Onvif: Onvif ポートを設定すると、デバイスは変更後に自動的に再起動します(デフォルト:2000、オプション:0-65535)。

Port Soap: ソープポートを設定します(デフォルト:1936、オプション:0-65535)。

Port RTMP: RTMP ポートを設定します(デフォルト:1935、オプション:0-65535)。

Port RTSP: RTSP ポートを設定します。デバイスは変更後に自動的に再起動します(デフォルト:554、オプション:0-65535)。

Port Visca: Visca ポートを設定すると、デバイスは変更後に自動的に再起動します(デフォルト:1259、オプション:0-65535)。

[Save] ボタンをクリックすると、“Save successful”(保存成功)が表示され有効になります。

Port Https: Https ポートを設定します(デフォルト:443)。

Port WebSocket: WebSocket ポートを設定します(デフォルト:8088)。

RTSP アクセス:RTSP://機器 IP アドレス:554/live/av0(av0 メインストリーム、av1 セカンドストリーム)

RTMP アクセス:RTMP://機器 IP アドレス:1935/live/av0(av0 メインストリーム、av1 セカンドストリーム)

2) Ethernet

DHCP: IP の自動取得を有効または無効に設定できます。変更を保存し、デバイスを再起動して有効にします(デフォルト: OFF)

IP Address: IP アドレスを設定し、変更を保存して、デバイスを再起動して有効にします(デフォルト:192.168.5.163)。注:この IP アドレスは、Web ページへのログインに使用されるものと同じです。

Subnet Mask: サブネットマスクを設定します(デフォルト:255.255.255.0)。

Default Gateway: デフォルトゲートウェイを設定します(デフォルト:0.0.0.0)。

Mac Address: 物理アドレスを設定します(パラメーターは読み取り専用ですが、変更できません)。

[Save] ボタンをクリックすると、“Save successful”(保存成功)が表示され有効になります。(注:変更時に IP の競合を防ぐため)。

3) DNS parameters

Preferred DNS server: 優先 DNS サーバーを設定します。(デフォルト:0.0.0.0)。

Alternate DNS server: 代替 DNS サーバー設定。(デフォルト:0.0.0.0)。

[Save]ボタンをクリックすると、“Save successful”(保存成功)が表示され有効になります。

4)GB28181

- Switch:** GB28181 を開いているかどうかを設定し、確認できます
- Time Synchronization:** 同期時間が設定されているかどうかを確認できます
- Stream Type:** ストリームタイプ設定(デフォルトのメインストリーム、オプションのセカンダリストリーム)
- Sign effective time(秒単位):** 3600 範囲 5-65535
- Heartbeat time(秒):** 60 範囲 1-65535
- Register ID:** 34020000001320000001
- Register User name:** IPC
- Register Password:** 12345678
- Equipment ownership:** ユーザーは独自の所有権を追加できます
- Administrative regions:** ユーザーは独自の領域を追加できます
- Alarm Zone:** ユーザーは独自のアラームゾーンを追加できます
- Equipment installation address:** ユーザーは独自のアドレスを追加できます
- Local SIP Port:** 5060 範囲 0~65535
- GB28181 Server Address:** コンピューターの IP アドレス
- Server SIP Port:** 5060 範囲 0~65535
- Server ID:** 34020000002000000001
- [Save] ボタンをクリックすると、“Save successful”(保存成功)が表示され有効になります。

4)RTSP

- RTSPAuthentication:** 有効または無効にして保存します。

4.2.7 システム構成

1)System Attribute

- Device Name:** デバイス名を設定します(デフォルト:Camera1、ユーザーは独自の名前を追加できます)。
- Device ID:** デバイス ID を設定します(デフォルト:1、読み取り専用)。
- Language:** システム言語を設定します。設定を変更して保存した後、再ログインする必要があります。
- [Save]ボタンをクリックすると、“Save successful”(保存成功)が表示され有効になります。

2)System Time

- Date Format:** 日付形式を設定します(デフォルト:YYYY-MM-DD 年-月-日、オプション:MM-DD-YYYY 月-日-年、DD-MM-YYYY 日-月-年)。
- Date separator:** 日付区切り記号を設定します(デフォルト:’/’、オプション:’.’、’-’)。
- Zone:** タイムゾーンを設定します(デフォルト:東 8 地区、オプション:その他のタイムゾーン)。
- Hour Type:** 時間タイプを設定します(デフォルト:24 時間、オプション:12 時間)。
- Time setting:** 時間モードを設定します(コンピューターの時間同期、NTP サーバーの時間同期を選択するか、手動で設定します)。

Computer Time: コンピューターの同期を有効に設定します。

Update interval: NTP サーバーの自動更新時間間隔を設定します。NTP サーバーの同期を設定した後に有効になります(デフォルト:1 日、オプション:2~10 日)。

NTP server address or domain name: NTP サーバーアドレスまたはドメイン名を設定します(デフォルト: time.nits.gov)。NTP サーバーの同期を設定した後に有効になります。

NTP Server Port: NTP サーバーポートを設定します(デフォルト:123)。NTP サーバーの同期を設定した後に有効になります。時間を手動で設定します。手動で設定すると有効になります。

[Save]ボタンをクリックすると、“Save successful”(保存成功)が表示され有効になります。

3)Sys User

Authority: ユーザータイプを設定します(デフォルト:administrator、オプション:Common User 1, Common User 2)

User name: ユーザー名を設定します(ユーザー管理者のデフォルトの管理者を選択します。共通のユーザー1 のデフォルトのユーザー1 を選択します。共通のユーザー2 のデフォルトのユーザー2 を選択します。ユーザーは自分で変更できます)

Password: パスワードを設定します(ユーザー管理者のデフォルトの管理者を選択します。共通のユーザー1 のデフォルトのユーザー1 を選択します。共通のユーザー2 のデフォルトのユーザー2 を選択します。ユーザーは自分で変更できます)。

Confirm Password: 入力したパスワードが同じかどうかを確認します。

[Save] ボタンをクリックすると、“Save the parameters successfully”(パラメータを正常に保存)メッセージが表示されセットが有効になります。

注: ユーザー名とパスワードでは大文字と小文字が区別されることに注意してください。

一般的なユーザーの名前とパスワードでページにログインする場合、設定権限はありませんが、プレビュー、再生、ログオフのみを操作できます。

4)Update

MCU version: V3.1.3 2021-7-28

Camera version: V1.0.1 2021-8-3

AF version: V4.0.4 2020-10-10

ユーザーは、メニューバージョンと一致する上記のバージョン情報のみを読み取りますが、変更することはできません。

Update file:

[Browse ...]インストールをクリックして、ポップアップウィンドウでアップグレードファイルを選択します。

[Upgrade]ボタンをクリックすると、アップグレードダイアログが表示されます。更新が正常に完了すると、デバイスは自動的に再起動します。(注: プロセス中に接続されている電源とネットワークを確認してください。そうしないと、アップグレードが失敗します)

注: バージョンのアップグレードが完了したら、次の 3 つの方法のいずれかを使用して工場出荷時のデフォルト設定

に復元してください。

- a. Web ページを使用して工場出荷時のデフォルトに戻す。
- b. カメラの OSD メニューを使用して工場出荷時のデフォルトに戻す。
- c. IR リモコンのショートカットキーの組み合わせ [*]+[#]+[6] を使用して工場出荷時のデフォルトに戻す。

5)Default

ポップアップ [Restore Factory Defaults] ボタンをクリックし、[yes] または [no] を選択すると、デバイスは自動的に再起動し、工場出荷時の設定に戻ります。

6)Reboot

ポップアップの [Reboot] ボタンをクリックして [yes] または [no] を選択すると、デバイスが自動的に再起動します。

4.2.8 ログアウト

[Logout] ポップアップの [Confirmation] ダイアログをポイントします。[yes] または [no] を選択し、[yes] を選択して現在のページを終了し、IP アドレスの割り当てを再度ユーザーログインインターフェイスに戻します。

5. シリアル通信制御

CV605 は RS232/RS485 インターフェース(VISCA)を介して制御することもできます。RS232C シリアルパラメータは次のとおりです。

Baud rate: 2400/4800/9600/115200 ビット/秒; スタートビット:1; データビット:8; ストップビット:1; パリティ:なし
電源を入れた後、カメラは最初に左に移動し、次に中央の位置に戻ります。ズームが最も遠い位置に移動してから最も近い位置に戻った後、セルフテストは終了します。カメラが以前に 0 プリセットを保存した場合、初期化後にその位置に戻ります。この時点で、ユーザーはシリアルコマンドでカメラを制御できます。

5.1 VISCA プロトコルリスト

5.1.1 コマンドリスト

コマンドセット	コマンド	コマンドパケット	説明
CAM_ID	CAM ID	88 30 0p FF	p: camera ID (1 to 7)
CAM_Power	On	8x 01 04 00 02 FF	電源のオン/オフ
	Off	8x 01 04 00 03 FF	
CAM_Zoom	Stop	8x 01 04 07 00 FF	p=0 (Low) to 7 (High)
	Tele(Standard)	8x 01 04 07 02 FF	
	Wide(Standard)	8x 01 04 07 03 FF	
	Tele(Variable)	8x 01 04 07 2p FF	
	Wide(Variable)	8x 01 04 07 3p FF	
CAM_Focus	Stop	8x 01 04 08 00 FF	p=0 (Low) to 7 (High)
	Far (Variable)	8x 01 04 08 2p FF	
	Near (Variable)	8x 01 04 08 3p FF	
	Auto Focus	8x 01 04 38 02 FF	AF オン/オフ
	Manual Focus	8x 01 04 38 03 FF	
	One Push Triggel	8x 01 04 18 01 FF	
CAM_WB	Auto	8x 01 04 35 00 FF	通常の自動
	Indoor	8x 01 04 35 01 FF	屋内モード
	Outdoor	8x 01 04 35 02 FF	屋外モード
	One Push WB	8x 01 04 35 03 FF	ワンプッシュ WB モード
	ATW	8x 01 04 35 04 FF	自動トレース WB
	Manual	8x 01 04 35 05 FF	手動制御モード
CAM-RGain	Up	8x 01 04 03 02 FF	R ゲインの手動制御
	Down	8x 01 04 03 03 FF	
CAM_BGain	Up	8x 01 04 04 02 FF	B ゲインの手動制御
	Down	8x 01 04 04 03 FF	
CAM_AE	Full Auto	8x 01 04 39 00 FF	自動露出モード
	Manual	8x 01 04 39 03 FF	手動制御モード
	Shutter Priority	8x 01 04 39 0A FF	シャッター優先モード
	Iris Priority	8x 01 04 39 0B FF	アイリス優先モード
CAM_Shutter	Up	8x 01 04 0A 02 FF	シャッター設定
	Down	8x 01 04 0A 03 FF	
CAM_Iris	Up	8x 01 04 0B 02 FF	アイリス設定
	Down	8x 01 04 0B 03 FF	
CAM_Backlight	On	8x 01 04 33 02 FF	バックライト補正のオン/オフ
	Off	8x 01 04 33 03 FF	
CAM_LR_Reverse	On	8x 01 04 61 02 FF	LR リバースオン/オフ
	Off	8x 01 04 61 03 FF	
CAM_Freeze	On	8x 01 04 34 02 FF	スタビライザーのオン/オフ
	Off	8x 01 04 34 03 FF	
CAM Preset	Reset	8x 01 04 3F 00 0p FF	p: プリセット番号
	Set	8x 01 04 3F 01 0p FF	
	Recall	8x 01 04 3F 02 0p FF	

CAM_Display	On/Off	8x 01 06 06 10 FF	データ画面のオン/オフ
Pan-tiltDrive	Up	8x 01 06 01 VV WW 03 01 FF	VV:パン速度(01 から 18) WW:チルト速度(01 から 14)
	Down	8x 01 06 01 VV WW 03 02 FF	
	Left	8x 01 06 01 VV WW 01 03 FF	
	Right	8x 01 06 01 VV WW 02 03 FF	
	Upleft	8x 01 06 01 VV WW 01 01 FF	
	Upright	8x 01 06 01 VV WW 02 01 FF	
	Downleft	8x 01 06 01 VV WW 01 02 FF	
	Downright	8x 01 06 01 VV WW 02 02 FF	
	Stop	8x 01 06 01 VV WW 03 03 FF	
	Home	8x 01 06 04 FF	
Reset	8x 01 06 05 FF		

5.1.2 照会コマンド

照会コマンド	コマンドパケット	照会パケット	説明
CAM_PowerInq	8x 09 04 00 FF	y0 50 02 FF	オン
		y0 50 03 FF	オフ(スタンバイ)
CAM_FocusModelInq	8x 09 04 38 FF	y0 50 02 FF	オートフォーカス
		y0 50 03 FF	マニュアルフォーカス
CAM_WBModelInq	8x 09 04 35 FF	y0 50 00 FF	自動
		y0 50 01 FF	屋内
		y0 50 02 FF	屋外
		y0 50 03 FF	ワンプッシュ WB
		y0 50 04 FF	ATW
		y0 50 05 FF	マニュアル
CAM_RGainInq	8x 09 04 43 FF	y0 50 00 00 0p 0q FF	pq:R ゲイン
CAM_BGainInq	8x 09 04 44 FF	y0 50 00 00 0p 0q FF	pq:B ゲイン
CAM_ShutterPosInq	8x 09 04 4A FF	y0 50 00 00 0p 0q FF	pq:シャッター位置
CAM_IrisPosInq	8x 09 04 4B FF	y0 50 00 00 0p 0q FF	
CAM_BackLightModelInq	8x 09 04 33 FF	y0 50 02 FF	オン
		y0 50 03 FF	オフ
CAM_LR_ReverseModelInq	8x 09 04 61 FF	y0 50 02 FF	オン
		y0 50 03 FF	オフ
CAM_FreezeModelInq	8x 09 40 62 FF	y0 50 02 FF	オン
		y0 50 03 FF	オフ
CAM_PictureFlipModelInq	8x 09 04 15 FF (8x 09 06 06 FF)	y0 50 02 FF	オン
		y0 50 03 FF	オフ
CAM_StabilizerModelInq	8x 09 04 34 FF	y0 50 02 FF	オン
		y0 50 03 FF	オフ

注: 上記の表の[X]は、操作するカメラアドレスを示しています。【y】=【x+8】。

5.2 Pelco-D プロトコルコマンドリスト

Function	Byte1	Byte2	Byte3	Byte4	Byte5	Byte6	Byte7
Up	0xFF	Address	0x00	0x08	Pan Speed	Tilt Speed	SUM
Down	0xFF	Address	0x00	0x10	Pan Speed	Tilt Speed	SUM
Left	0xFF	Address	0x00	0x04	Pan Speed	Tilt Speed	SUM
Right	0xFF	Address	0x00	0x02	Pan Speed	Tilt Speed	SUM
Upleft	0xFF	Address	0x00	0x0C	Pan Speed	Tilt Speed	SUM
Upright	0xFF	Address	0x00	0x0A	Pan Speed	Tilt Speed	SUM
DownLeft	0xFF	Address	0x00	0x14	Pan Speed	Tilt Speed	SUM
DownRight	0xFF	Address	0x00	0x12	Pan Speed	Tilt Speed	SUM
Zoom In	0xFF	Address	0x00	0x20	0x00	0x00	SUM
Zoom Out	0xFF	Address	0x00	0x40	0x00	0x00	SUM
Focus Far	0xFF	Address	0x00	0x80	0x00	0x00	SUM
Focus Near	0xFF	Address	0x00	0x00	0x00	0x00	SUM
Set Preset	0xFF	Address	0x00	0x03	0x00	Preset ID	SUM
Clear Preset	0xFF	Address	0x00	0x05	0x00	Preset ID	SUM
Call Preset	0xFF	Address	0x00	0x07	0x00	Preset ID	SUM
Query Pan Position	0xFF	Address	0x00	0x51	0x00	0x00	SUM
Query Pan Position Response	0xFF	Address	0x00	0x59	Value High Byte	Value Low Byte	SUM
Query Tilt Position	0xFF	Address	0x00	0x53	0x00	0x00	SUM
Query Tilt Position Response	0xFF	Address	0x00	0x5B	Value High Byte	Value Low Byte	SUM
Query Zoom Position	0xFF	Address	0x00	0x55	0x00	0x00	SUM
Query Zoom Position Response	0xFF	Address	0x00	0x5D	Value High Byte	Value Low Byte	SUM

5.3 Pelco-P プロトコルコマンドリスト

Function	Byte1	Byte2	Byte3	Byte4	Byte5	Byte6	Byte7	Byte8
Up	0xA0	Address	0x00	0x08	Pan Speed	Tilt Speed	0xAF	XOR
Down	0xA0	Address	0x00	0x10	Pan Speed	Tilt Speed	0xAF	XOR
Left	0xA0	Address	0x00	0x04	Pan Speed	Tilt Speed	0xAF	XOR
Right	0xA0	Address	0x00	0x02	Pan Speed	Tilt Speed	0xAF	XOR
Upleft	0xA0	Address	0x00	0x0C	Pan Speed	Tilt Speed	0xAF	XOR
Upright	0xA0	Address	0x00	0x0A	Pan Speed	Tilt Speed	0xAF	XOR
DownLeft	0xA0	Address	0x00	0x14	Pan Speed	Tilt Speed	0xAF	XOR
DownRight	0xA0	Address	0x00	0x12	Pan Speed	Tilt Speed	0xAF	XOR
Zoom In	0xA0	Address	0x00	0x20	0x00	0x00	0xAF	XOR
Zoom Out	0xA0	Address	0x00	0x40	0x00	0x00	0xAF	XOR
Focus Far	0xA0	Address	0x01	0x00	0x00	0x00	0xAF	XOR
Focus Near	0xA0	Address	0x02	0x00	0x00	0x00	0xAF	XOR
Set Preset	0xA0	Address	0x00	0x03	0x00	Preset ID	0xAF	XOR
Clear Preset	0xA0	Address	0x00	0x05	0x00	Preset ID	0xAF	XOR
Call Preset	0xA0	Address	0x00	0x07	0x00	Preset ID	0xAF	XOR
Query Pan Position	0xA0	Address	0x00	0x51	0x00	0x00	0xAF	XOR
Query Pan Position Response	0xA0	Address	0x00	0x59	Value High Byte	Value Low Byte	0xAF	XOR
Query Tilt Position	0xA0	Address	0x00	0x53	0x00	0x00	0xAF	XOR
Query Tilt Position Response	0xA0	Address	0x00	0x5B	Value High Byte	Value Low Byte	0xAF	XOR
Query Zoom Position	0xA0	Address	0x00	0x55	0x00	0x00	0xAF	XOR
Query Zoom Position Response	0xA0	Address	0x00	0x5D	Value High Byte	Value Low Byte	0xAF	XOR

6. カメラのメンテナンスとトラブルシューティング

6.1 カメラのメンテナンス

1. カメラを長期間使用しない場合は、電源を切り、電源を切ってください。
2. 柔らかい布またはティッシュを使用して、カメラカバーを清掃します。
3. 柔らかい布を使用してレンズを清掃します。ひどく汚れている場合は、ニュータークレンザーを使用してください。傷を防ぐために、強力または腐食性のクレンザーまたは腐食性のクレンザーを使用しないでください。

6.2 トラブルシューティング

1)ビデオ出力がない

1. カメラの電源が接続されているか、電圧が正常であるか、電源インジケータが点灯しているかを確認します。
2. 再起動中(電源の入れ直し)にカメラが自己検査モードまたは開始モードになっていますか。
3. カメラ下部の DIP スイッチが通常の動作モードになっているかどうかを確認します(表 2.2 および表 2.3 を参照)。
4. ビデオ出力ケーブル(ケーブルは時間の経過とともにフェイルオーバーします)および/またはビデオ表示設定を確認します。

2)ズームインまたはズームアウト時の画像のディザリング

1. 取り付け方法または取り付け方法を確認して、カメラが安定していることを確認してください。
2. 機械の振動や揺れ、操作の障害物がないか確認してください。

4)リモコンが機能しない

1. リモートコントロールアドレスが 1 に設定されていることを確認します(マシンが工場出荷時のデフォルトに戻されている場合は、リモートコントロールアドレスも 1 に戻す必要があります)。
2. バッテリーをチェックして、正しく充電されていることを確認します。
3. カメラの動作モードを確認し、通常の動作モードに設定します(表 2.2 および表 2.3 を参照)。
4. OSD メニューが画面上で開いているか閉じているかを確認します。リモコンによるカメラ制御のみが可能で、メニューを終了した後、LAN からのビデオ出力の場合、メニューは表示されず、メニューは 30 秒後に自動的に存在し、リモコンで制御できます。

5)シリアルポートが機能しない

1. カメラのシリアルデバイスプロトコル、ボーレート、アドレスが一致するかどうかを確認します。
2. 制御ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
3. カメラの動作モードが通常の動作モードであるかどうかを確認します(表 2.2 および表 2.3 を参照)。

6) Web ページがログインできない

1. カメラがセットアップされ、通常の動作モードになっているかどうかを確認します。
2. ネットワークケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します(イーサネットポートでは、黄色のライトが点滅して、ネットワークケーブルが正常に接続されていることを示します)
3. コンピューターの設定がカメラセグメントと一致しているかどうか、およびセグメントがカメラの IP アドレスと一致しているかどうかを確認します
4. [Start]をクリックして[Run]を選択し、コンピュータに「CMD」と入力します。[OK]をクリックして、DOS コマンドウィンドウをオンにします。ping 192.168.5.163 と入力します。[Enter]キーを押すと、次のようなメッセージが表示されます。“Description network connection is normal”(説明ネットワーク接続は正常です)

保証

Marshall CV605-BK/WH は、通常の使用条件下でご使用ください。

ご購入日から 1 年間は無償修理保証の対象となります。

この保証はご購入者様のみ適用され、無償修理保証を依頼する場合には販売店へご連絡ください。

シリアル番号が不明な場合、修理をお受けできない場合がございます。

この保証は、製品の外装や装飾品には適用されません。設計または構造の誤用、異常な取り扱い、変更または修正は、この保証を無効にします。販売者またはその他の販売員の販売担当者は、上記以外の保証を行うこと、または上記の期間を超えて、Marshall Electronics に代わって保証期間を延長することはできません。

製品および製品の機能を常に改善するための努力により、仕様は予告なしに変更される場合があります。

保証期間内でも以下の場合には有償修理または、修理をお受けできない場合がございます。

- 誤った使用方法や不当な修理、改造等を行っていた場合。またそれによって生じた故障、損傷。
- 落下などによる故障、損傷。
- 火災、天災地変(地震、風水害、落雷等)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。

無償保証修理は日本国内においてのみ有効です。

日本国内サポート窓口

Marshall

BROADCAST & PRO AV

株式会社 M&Inext Marshall 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

<http://marshall-japan.com/>

contact@minext.jp

2023 年 11 月 30 日